

第二十四号

平成二十六年年度号 (12月20日発行)

### 挨拶

つつじヶ丘同窓会関西支部

会長 富士 昭一

(西高3回生)

長い間ご無沙汰いたしておりますが、お元気でお過ごしでしょうか。昨年来、暴風雨、洪水、土砂流出等の災害が多発しておりますが、会員皆様におかれましては、如何で御座いましたでしょうか。皆様の情報が届いて来ませんので心配しているところでございます。

昨年、平成二十五年度は、五月に東京支部第十五回記念総会及び函館本部総会に支部長が出席いたしました。しかし支部会員への連絡や活動は全くされていませんでした。支部長本人の体調不良などの個人的理由によるものです。昨年十二月によく幹事会が開催され、これからの関西支部の在り方、進む方向としていかにすべきかを討論していくことになりました。現在、関西支部のおかれている状況は、次の通りです。

(1) 会員数が極端に減少している。高女、女子高の先輩の皆様の加齢によることや新会員の関西

移住が見込めない。

(2) 愛知県以西から九州までは広範囲過ぎて無駄が多い。近畿二府四県とその隣接地区に限定して活動すべきである。

(3) 幹事会も高齢化して、新幹事の成り手がいない。現在の幹事で支部を維持し、総会、会報編集等は省略、会費は徴収しない。

以上のことから、これから先ず今までの連絡先へ「つつじヶ丘だより」会報を、お知らせとしてお届けします。次回は近畿地区と隣接地域及びご連絡を頂いた方への対応とさせていただきます。また、出席可能な会員で食事会・懇親会を行う、幹事会の運営は寄付金で行う、連絡用としての会報「つつじヶ丘だより」を発行する、等を行う予定です。

関西支部のこれからは、このように変わって参りますがなにとぞご理解戴きますようお願い申し上げます。それでは皆様のこれからのご健勝とご多幸をお祈り申し上げ失礼いたします。

### 連絡事項

(1) 会計幹事栗山元宏氏が転居されましたので、今迄のゆうちょ銀行の口座は解約いたしました。関西支部の口座はありません。今迄の振替用紙も使用できません。ご注意ください。

(2) 関西支部への寄付金等は支部長富士昭一個人の口座となります。同窓会専用口座です。

口座番号は、ゆうちょ銀行、店番：438、普通預金、口座番号：2440050、なまえ フジ ショウイチ

T6540111

神戸市須磨区車菅ノ池

1351131105

### 《特別寄稿》

#### 函館西高校同窓会関西支部との出会い

石原 貞夫(西高3回生)

私が西高を卒業し、函館を離れてから62年経過しましたが、その間色々な経験をしてみました。最初は仙台の大学入学し、卒業後は、就職した会社の勤務地が三重県にあった為、此処が第二の故郷になりました。当時は、西高同窓会の事等は考へる事ありませんでした。時を前後して弟の正が大阪の広告代理店に勤務する事になり、色々連絡を取り合っている内に、西高OB会の話が出て、一度大阪に出て来いと言う事になりました。支部の総会に出席したのがこの会との繋がりとなりました。総会には旧高女の先輩が殆どで、西高卒業生はほんの数名で、隅の方に小さくなっていました。その後、西高卒業生も少しずつ増加し、逆に旧高女卒の方が少なくなってきました。当時支部長をされていた寺村さんと言う方が積極的の会の纏めをして下さいました。時には京都で総会をしたこともあり、また、西高の校長先生や東京支部長さんを招待し、総会を開いたこともあり、その後弟の正が支部長になり、会の運営を見ておりました。当時のメンバーは、3回生、5回生が主体になり、後輩の情報を集めて会員の勧誘をしていました。しかし、残念ながら西高の卒業生で関西に在住する人は少なく、ましてや旧高女の方は望むべくもなく、員数は減少せざるを得なくなりつつあります。現在3回生の富士昭一さんが支部長をしておりますが、傘寿の歳を迎え、会を纏める事は難しい事と思いま

す。

所で余談になりますが、先日書類の整理をして  
おりましたら函館西高等学校同窓会関西支部「会  
員名簿」(平成4年度)なるものが出てきました。A  
5版の大ききで、12ページに、旧高女の方が130  
名、西高卒が50名程の名前が載っていました。文  
中には、函館西校同窓会関西支部「申し合わせ」  
として7項目の事項が書いてあり、この会は箱根山  
以西に在住する同窓生の親睦を計る事を目的に  
する、毎年一回総会を開く。会員は年間壹千円の  
維持費を納める等綴られていました。今考えると  
夢のような話になりますが、こんな時代もあつたん  
だなあとつくづく感じた次第です。

これから少子高齢化の時代に入り、後継者を集  
める事が段々難しくなる時代になります。西高同  
窓会関西支部も今後の運営について結論を出す時  
期が来たような気がします。東京にも支部があり、  
出席案内を送って貰いますが、距離的に遠く、一  
度も出掛けておりません。少子高齢化の時代にな  
り、何処の同窓会も運営が難しくなる時代になっ  
てきたように思います。  
最後になりますが、この会の運営にご尽力下さつ  
た皆様の御努力に対し心から御礼を申し上げ、函  
館西高の益々の発展を祈念しております。

\* \* \* \* \*

創立110周年記念事業協賛金

募集のお知らせ

同窓会本部より下記の募金趣意書が届いております。既  
に募金された方には、重複をお許しください。

創立一一〇周年記念事業協賛会募金趣意書

謹啓、皆様におかれましてはますます清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、ご承知のこととは存じますが、北海道函館西高等学校は明治三十八年北海道庁立函館高等女  
学校として創立され、その後、昭和二十五年の学制改革により北海道函館西高等学校となり今日に至  
っており、平成十八年には創立一〇〇周年記念事業を行ったところです。

この度は、創立一一〇周年を記念し、平成二十七年十月三日(土)に記念行事を挙行するとともに、  
若き後輩たちのために教育環境整備の事業を計画しています。これらの行事・事業を遂行していくた  
めに、創立一一〇周年記念事業協賛会を組織し、同窓会各位の協力のもとに募金活動を展開すること  
としました。

つきましては、事情をご推察いただき、募金目標の達成のために皆様から賛助金を仰ぎたいと存じ  
ます。何かと出費のかさむ折りと存じますが、特段のご協力をお願い申し上げます。

平成二十六年六月吉日

北海道函館西高等学校創立一一〇周年記念事業協賛会

- 会長 中山 浩一 (西高九回生)
- 副会長 藤井 方雄 (西高一回生)
- 副会長 小林 敏夫 (西高十五回生)
- 副会長 毛利 悦子 (西高十六回生)
- 副会長 若山 央 (西高十七回生)
- 顧問 佐々木 太郎 (東京支部長)
- 顧問 富士 昭一 (関西支部長)
- 顧問 浅野 元広 (札幌支部長)

記

一 記念行事

- ・ 記念式典 平成二十七年十月三日(土)
- ・ 記念祝賀会 平成二十七年十月三日(土)

二 記念事業

- ・ 教育環境の整備
- ・ 資料室の整備
- ・ 記念誌の作成

三 募金額

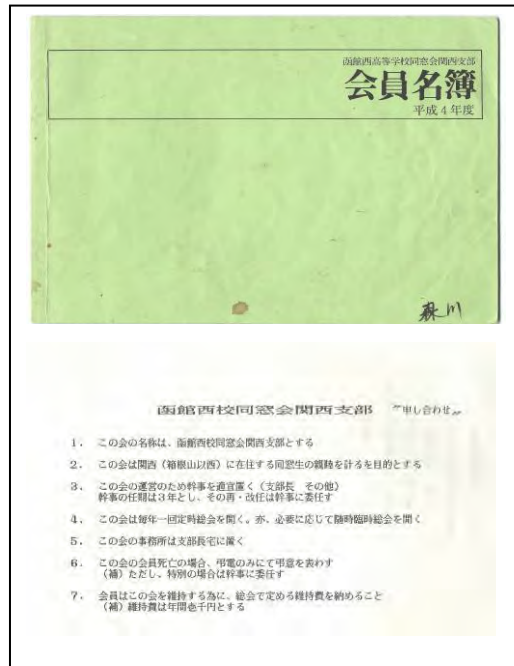
三千元以上

### 関西つつじヶ丘同窓会に

### 出席してはや三十九年に

中村 浩(西高9回生)

会に初めて出席したのは、39年前の1976年(昭和51年)秋であった。ここで表題にあえて「つつじヶ丘同窓会関西支部」と書いたが、私の意識のなかではこの会は「関西つつじヶ丘同窓会」である。創立何周年記念事業で寄付を募るとか、会長が同窓会総会に出席するとかになると、改めて「つつじヶ丘同窓会関西支部」という名称が出てくる。印刷物の一部には、「北海道函館西高等学校 つつじヶ丘同窓会」という名称も見られるが、これでは長すぎ。同窓会会則ではその第一条に「会の名称は『つつじヶ丘同窓会』とする」となっている。しかも、記号繰り返し(ひらがな)略字「々」を使用している。これは日本語ワード・プロセッサで文字入力するとすんなり出てこない。そこで、「関西つつじヶ丘同窓会」では「(つじヶ)」と表記してきた。



この関西つつじヶ丘同窓会に初めて出席したきっかけはその一年前に戴いた一通のハガキにある。

1975年5月から1年間、アメリカ合衆国のある大学に出張(留学)していたとき、新千里東町の留守宅にこのハガキが届いていた。これには石原正さん(西高5回生)作、千里ニュータウンの鳥瞰図の一部分、千里中央駅から私の住んでいた住宅公園の建物が入っている区画が絵ハガキになっていて、通信欄には関西つつじヶ丘同窓会の例会案内が記されていた。あとでお聞きしたところによると彼が出版した絵ハガキの構図に宛先の住所あるいは関係地域があるものについては、それらを選び出し宛先にお送り下さったとのことである。このように石原さんを中心に先輩たちが関西在住の後輩たちに毎年秋に開催される関西つつじヶ丘同窓会の例会への参加を勧誘、会員の掘り起こしの努力をした結果、この時期に会員が増えたようである。

石原正さんは、寺村初瀬さん(高女11回生)、出崎せつさん(高女26回生)、桜井佳子さん(高女37回生)に続いて第4代目の会長をお引き受け下さり、会の発展に尽力された。彼は、鳥瞰図絵師と自ら名乗り、千里ニュータウン絵図を始め、多

くの鳥瞰図を出版された。それらの出版の度ごとに、出版記念販売の会に出かけこれら鳥瞰図を手した。今でも彼のサイン入りの絵図を何冊か持っている。鳥瞰図と石原正さんの思い出は、機会があればまた書きたいと思っている。

私が会に、出席し始めたころはまだ三十代後半で仕事に追われ、私の出席率はあまり良くなかったと記憶している。その頃は、まだ、寺村会長の時代で2回ほど会に出席している。出崎会長の時代には零回、桜井会長の時代になってから、かなり出席回数が増えた。上記の図は、平成元年(1988年)の会の案内状で、最近、書類を整理して出てきた。この案内状には、石原さんの手書きで世話人幹事の桜井さん、小林さん、西本さん、嶋田さんの高女37回生、四名の方々の名が記されている。彼の手書きの地図もなつかしい。

ここで気が付くのは、「……例会のお知らせ……」となっていて、あまり総会と格式張らずに会を開催したいという桜井さんや石原さんの思いがあったのかも知れない。なお、石原貞夫さんの特別寄稿に出てくる平成4年発行の会の名簿は私も持っていたのだがすぐ見つからず、森川二三子さん(西高4回生)のお手を煩わした。そのお借りした冊子の表紙と「申し合わせ」事項のコピーをこのページ右上に示した。このタイトルには「函館西高等学校同窓会関西支部 会員名簿」となっていて、『つつじヶ丘同窓会』の文字はない。森川さんと橋本輝也さん(西高5回生)によると、昭和50年前後は高女の同窓会と西高同窓会が並立してそれらを合同で開催してはどうかとの話になり、「函館西高校同窓会『関西の集い』」として会が発足したとのこと。

この合同開催の会の何回目かに私も参加するこ

北海道函館西高等学校  
つつじヶ丘同窓会関西支部  
……例会のお知らせ……

日時 10月15日(日) 正午(12時)～4時  
会場 料亭 八幸 ☎(06)312-8485  
〒530 大阪市北区曽根崎2丁目8-9  
会費 7,000円(写真代1,000円を含む)  
※桜石料理

※欠席の方は、同様の払込用紙にて維持費¥1,000を払込んで下さい。  
〒530 大阪市北区曽根崎2丁目8-9

平成 24 年度収支会計報告

自 平成 24 年 4 月 1 日  
至 平成 25 年 3 月 31 日

収入の部	金額(円)	支出の部	金額(円)
前年度繰越金	195,021	通信費:切手はがき	31,300
本部からの補助金	30,000	旅費:神戸-函館往復	36,800
会員維持費	109,000	出張宿泊費 1泊	7,000
高女 12 x @1,000		総会ホテル支払	132,000
西高 44 x @2,000		土産・ゲーム賞品など	20,000
総会会費 19 x @8,000	152,000	集合写真代(送料込)	23,803
御祝儀・寄付金	32,000	雑費:コピー代、事務用品など	2,702
預金利息	43	次年度繰越金	264,459
合 計	518,064	合 計	518,064

平成 25 年度収支会計報告

自 平成 25 年 4 月 1 日  
至 平成 26 年 3 月 31 日

収入の部	金額(円)	支出の部	金額(円)
前年度繰越金	264,459	通信費:切手代	1,220
本部からの補助金	30,000	旅費:神戸-東京往復	28,810
会員維持費(寄付)	0	旅費:神戸-函館往復	35,270
預金利息	53	出張宿泊費 1泊	7,500
		御祝儀:東京支部	10,000
		次年度繰越金	211,712
合 計	294,512	合 計	294,512

とになったようである。その後、この会が関西支部を兼ねるようになり、本部での「つつじヶ丘同窓会」にならつてこの名称が使われるようになったようである。

ある。この関西つつじヶ丘同窓会に初めて参加したのがつい先日のように思い出される。

維持費御寄付のお願い

平成二十七年以降の会の維持のため、幹事が中心となり寄付を集めたいと思っております。御賛同いただける方は、幹事にお声を掛けて下さるようお願い申し上げます。

幹事リスト

- 会長 富士昭一 (西高3回生)
- 副会長 橋本輝也 (西高5回生)
- 幹事長 岡本忠篤 (西高8回生)
- 森川二三子 (西高4回生)
- 中村 浩 (西高9回生)
- 小林敏行 (西高10回生)
- 水島勝寿 (西高11回生)
- 田端冴子 (西高14回生)
- 中谷 基 (西高20回生)

編集後記

富士会長の御指摘のように、若い会員の入会がほとんど望めない状況が続いている中で、会を今迄のように維持していくのは困難である。しかし、寺村会長の時代から通算すると、この「つつじヶ丘同窓会関西支部」は四十年以上も続いている支部である。会を終息させるのは忍び難いものがある。

そこで、出来る限りこの「つつじヶ丘だより」の刊行だけでも継続させたい。石原正さん制作の本誌の題字を見ながら。  
(中村浩 記)